

「川崎市民健康の森債」購入者アンケート結果

市債の個人消化・公募化を通じた資金調達手法の多様化、市民の市政への参画意識の高揚を図るために、市民健康の森推進事業を対象とした住民参加型ミニ市場公募債「川崎市民健康の森債」(20億円)を平成16年12月1日から8日にかけて市内在住または在勤者に対して募集し、12月21日に発行したところですが、その購入者アンケート結果がまとまりました。

アンケート回収状況

販売件数	回答数	回収率
1,227	515	42.0%

1. 男女別では女性の割合が6割と高くなっています。

購入者アンケート総数515人の男女割合は、女性が324人(63%)、男性が191人(37%)となっており、女性購入者の割合が高くなっています。

2. 世代別では60歳代から70歳代の割合が6割と高くなっています。

世代別に見ますと、70歳代が186人(36%)で最も多く、60歳未満の人の割合よりも多くなっています。60歳代の156人(30%)と合わせますと全体の3分の2を占めています。

男女別・世代別構成

(件)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
男性	10	3	3	8	30	62	66	18	200
女性	0	4	10	23	51	94	120	22	324
計	10	7	13	31	81	156	186	40	524

3. 居住地域別では市の南部地域と北部地域の方が多い傾向にあります。

居住地別に見ますと、川崎区が95人(18%)、麻生区が71人(14%)、幸区が61人(12%)の順で多くなっています。人口割合でも川崎区と麻生区が0.05%と多くなっています。

居住地別構成

(件)

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	計	川崎市外
購入件数	95	61	60	25	34	40	71	386	129
人口(万人)	20	14	21	20	21	20	15	131	
割合(%)	0.05%	0.04%	0.03%	0.01%	0.02%	0.02%	0.05%	0.03%	

人口はH16.12.1現在

4. 購入金額別では100万円未満の購入者の割合が54%と高くなっています。

購入金額別に見ますと、100万円未満が275人(54%)で圧倒的に多く、100万円から200万円未満の人が130人(25%)で次に多くなっています。これらを合わせた200万円未満の購入者の割合は全体の8割近くを占めています。

これは、市債を預貯金代わりに手軽に購入していただいた結果であり、「個人の金融資産の運用方法が多様化してきている中で、このミニ公募債に投資していただく形で、新しい資金の運用先を市民の皆さんに提供する」という発行意義に沿う結果になったと考えています。

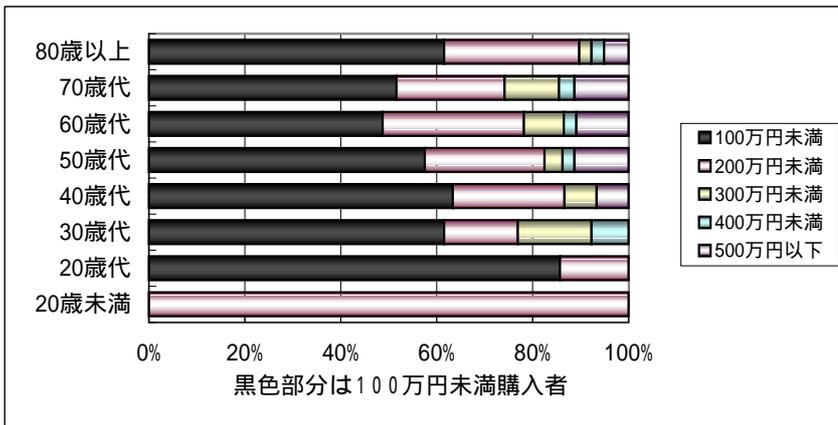
「川崎市民健康の森債」購入者アンケート結果

5. 一人当たりの平均購入額は163万円で、世代別では70歳代が最も多くなっています。
 世代別に一人当たりの平均購入額を見ますと、件数の少ない20歳未満を除けば、50歳代から70歳代が多い傾向にあり、高齢になるにしたがって購入金額も多くなっています

購入金額別構成

(件) (万円)

	100万円未満	200万円未満	300万円未満	400万円未満	500万円以下	計	平均購入額
20歳未満	0	1	0	0	0	1	174
20歳代	6	1	0	0	0	7	88
30歳代	8	2	2	1	0	13	143
40歳代	19	7	2	0	2	30	137
50歳代	46	20	3	2	9	80	159
60歳代	76	46	13	4	17	156	171
70歳代	96	42	21	6	21	186	174
80歳以上	24	11	1	1	2	39	135
計	275	130	42	14	51	512	163



6. 7割の購入者が市債の情報を金融機関から得ています。
 「川崎市民健康の森債」の募集販売を何で知ったかという質問に対しては、金融機関からの勧誘が全体の7割と最も高くなっており、次いで「市政だより」が1割、新聞記事や今回初めての試みでありました市営バス広告でも一定の効果がありました。
 市債の募集を通したシティセールスや対象事業のPRが今後も重要であるということがわかります。

問:この市債の募集販売を何でお知りになりましたか

(件)

市政だより	金融機関	新聞広告	新聞報道	バスター ちらし	バス広告	H P	テレビビジョン
53	393	21	23	12	19	7	0

FM放送	家族・知人等	その他	計
0	12	17	557

「川崎市民健康の森債」購入者アンケート結果

7. 4割近くの購入者は市が発行するという安心感から購入しています。

269人(38%)の方が市が発行するという安心感から購入しています。また、「川崎市民だから」が158人(22%)、「対象事業への関心」が124人(17%)となっており、これらを合わせますと全体の77%を占めており、単なる金融商品としてだけではなく、市に対する信頼感や愛着、対象事業に対する積極的な関心の高さがわかります。

そして利率が他の預貯金と比べると有利であることを購入動機にした方も143人(20%)おり、「市民が市債の購入を通じて資金の供給者となることにより、対象事業への関心を高めてもらうとともに、市民との協働による『うるおいのある快適で安心な都市づくり』を進める本市の基本理念に対する理解と市政参画意識の高揚を図るというミニ公募債の発行意義に沿う結果となりました。

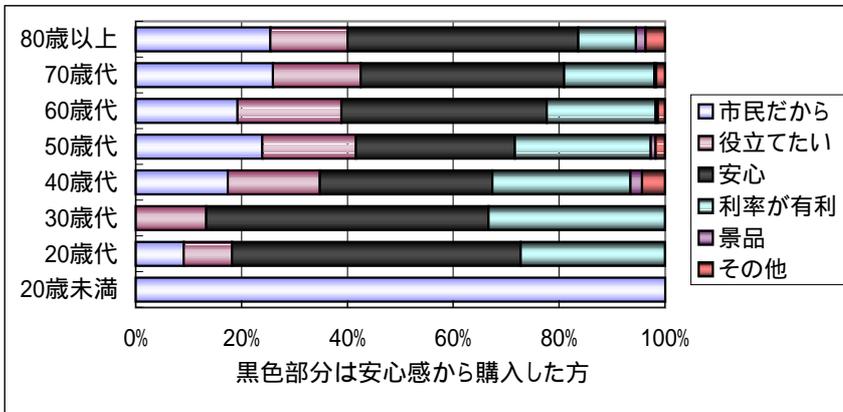
また、高齢になるほど、購入動機に「有利な利率」よりも「市民であるから」を挙げる割合が多くなっている傾向にあるようです

問：特に川崎市民健康の森債を選択した理由はなんですか

- ・ 川崎市民なので 158 (件)
- ・ 資金の使途が市民健康の森事業への活用ということで、自分のお金を役立てたかったから 124
- ・ 市が発行する債券で安心だから 269
- ・ 利率が他の金融商品と比べ有利だと思ったから 143
- ・ 景品(花の種)がついているから 5
- ・ その他(以前に川崎に住んでいた等) 13

[年齢別] (件)

	市民だから	役立てたい	安心	利率が有利	景品	その他	計
20歳未満	1	0	0	0	0	0	1
20歳代	1	1	6	3	0	0	11
30歳代	0	2	8	5	0	0	15
40歳代	8	8	15	12	1	2	46
50歳代	27	20	34	29	1	2	113
60歳代	43	44	87	46	1	3	224
70歳代	64	41	95	42	1	4	247
80歳以上	14	8	24	6	1	2	55
計	158	124	269	143	5	13	712



「川崎市民健康の森債」購入者アンケート結果

8. 3割近くの購入者が金利選好によらないで購入しています。

利率についての質問では「5年もの国債程度」が283人(55%)で最も多く、5年利付国債の利回りを参考にした金利を望まれていることがわかります。

その一方で、「資金使途が明確であれば利率にこだわらない」が59人(11%)、「5年もの定期預金程度」が87人(17%)となっており、市債を金融商品として金利選好で購入するのではなく、市政参画の意味から購入する方も多いことがわかります。

問: 次回は、利率がどの程度なら購入しようと思えますか

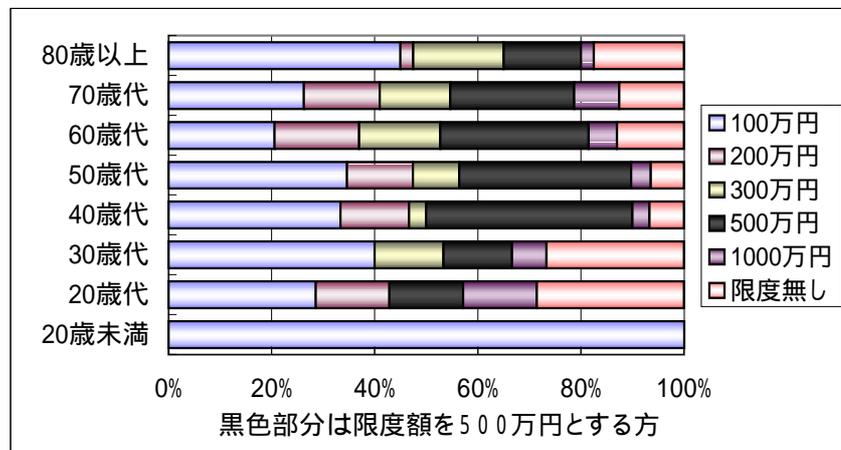
- ・ 資金使途が明確であれば利率にはこだわらない 59 (件)
 - ・ 普通預金の利率程度 6
 - ・ 5年もの定期預金の利率程度 87
 - ・ 5年もの国債の利率程度 283
 - ・ その他 52
- (元金保証)
(国債の利率以上)

9. 高額な購入限度額設定を希望される方も多くなっています。

購入限度額についての質問では「100万円まで」が142人(28%)と最も多くなっていますが、次に多い「500万円まで」の133人(27%)とほぼ同数となっています。「1,000万円まで」「限度額なし」という方も93人(19%)おり、高額需要が大きいことがわかります。

問: 購入限度額はどの程度が適当だと思われませんか (件)

	100万円	200万円	300万円	500万円	1000万円	限度無し	計
20歳未満	1	0	0	0	0	0	1
20歳代	2	1	0	1	1	2	7
30歳代	6	0	2	2	1	4	15
40歳代	10	4	1	12	1	2	30
50歳代	27	10	7	26	3	5	78
60歳代	30	24	23	42	8	19	146
70歳代	48	27	25	44	16	23	183
80歳以上	18	1	7	6	1	7	40
計	142	67	65	133	31	62	500



「川崎市民健康の森債」購入者アンケート結果

10. 満期年限では「5年」を希望する購入者が半数以上を占めています。

満期の年限についての質問では今回と同じ「5年」が296人(56%)で最も多くなっていますが、「3年」が180人(34%)と次いで多く、4年以下では42%を占めており、短期年限に対する希望が多くなっています。

問: 満期の年限はどのくらいが望ましいですか (件)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年
4	10	180	28	296	2	1	1

9年	10年	他	計
1	6	4	533

11. 対象事業としては「福祉、保健、医療等」を希望する購入者が最も多くなっています。

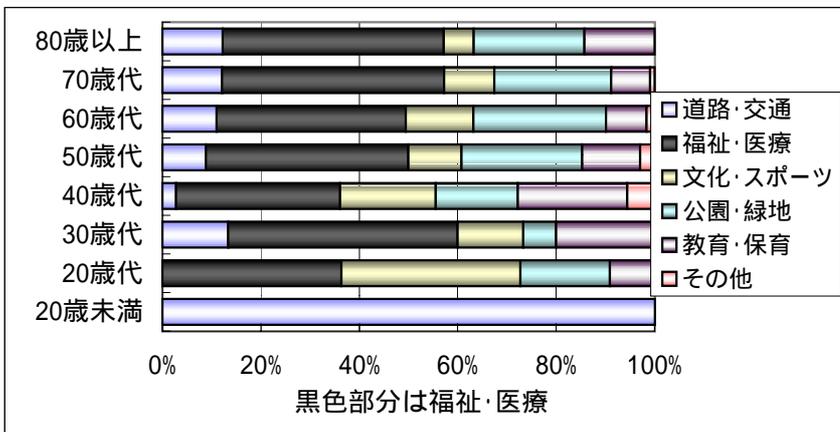
対象事業についての質問では「福祉、保健、医療等」が254人(42%)で最も多く、健康に対する市民の関心の高さがうかがえます。

問: 今後どのような事業に資金を活用するのが望ましいですか

- ・ 道路、公共交通網等の整備 65 (件)
- ・ 福祉、保健、医療等の整備 254
- ・ 文化、スポーツ、地域活動施設等の整備 74
- ・ 公園、緑地保全、生活環境等の整備 145
- ・ 教育、保育施設等の整備 63
- ・ その他 10

[年齢別] (件)

	道路・交通	福祉・医療	文化・スポーツ	公園・緑地	教育・保育	その他	計
20歳未満	1	0	0	0	0	0	1
20歳代	0	4	4	2	1	0	11
30歳代	2	7	2	1	3	0	15
40歳代	1	12	7	6	8	2	36
50歳代	9	42	11	25	12	3	102
60歳代	20	70	25	49	15	3	182
70歳代	26	97	22	51	17	2	215
80歳以上	6	22	3	11	7	0	49
計	65	254	74	145	63	10	611



「川崎市民健康の森債」購入者アンケート結果

12. 購入者のうち3分の2以上が今まで市債購入の経験がない購入者でした。

川崎市市債の購入経験についての質問では「ない」が363人(72%)となっており、そのうち250人が「発行されていることを知らなかった」と回答しています。個人販売促進のためのさらなる広報活動の充実が必要であると考えられます。

問: 以前に、川崎市債を購入されたことはありますか

	ある	ない	計
20歳未満	0	1	1
20歳代	1	5	6
30歳代	5	8	13
40歳代	6	28	34
50歳代	19	59	78
60歳代	46	108	154
70歳代	52	131	183
80歳以上	15	23	38
計	144	363	507

問: 前の質問で、「ない」とお答えの方に伺いますが、その理由は何ですか

- ・ 利率が低い 36 (件)
- ・ 手続きが面倒そう 28
- ・ 発行されていることを知らなかった 250
- ・ その他 39

13. 8割近くの購入者が今回の市債募集を通じて「市民健康の森」を知りました。

対象事業を知っていたかという質問では「以前から知っていた」が106人(21%)であるのに対し、「市債の募集で初めて知った」が397人(79%)もいました。市債の募集を通じて「シティセールスや対象事業のPRを行う」ということには一定の効果が認められますが、今後も事業のPRを積極的に行っていく必要があります。

問: 市民の主体的な参画により、各区に1ヶ所ずつ整備している「市民健康の森」のことをご存知でしたか

	知っていた	初めて知った	計
20歳未満	1	0	1
20歳代	1	6	7
30歳代	3	9	12
40歳代	7	22	29
50歳代	16	64	80
60歳代	31	121	152
70歳代	43	140	183
80歳以上	4	35	39
計	106	397	503

複数回答及び無回答があるため、各質問の回答数の合計はアンケート回答者数と一致しません。